

F111		看護学概論	
英名科目名	Introduction to Nursing		
大学名	同志社女子大学		
連絡先	本学京田辺キャンパス開講 教務課 TEL: 0774-65-8413 FAX: 0774-65-8418		
担当教員	片山 由加里 (看護学部准教授) 當日 雅代 (看護学部教授)		
開講期間	2021年04月15日(木)～2021年07月29日(木) 4講時 15時00分～16時30分(毎週木曜日) 開講 2021/07/22(木・祝) 休講 2021/04/29(木・祝)		
開講形態	前期・春学期	開講曜日・講時	木曜日 4講時
単位数	2	履修年次	1年次以上
会場	京田辺キャンパス		
授業定員	100		
単位互換生定員	10	京カレッジ生定員	5
試験・評価方法	評価方法・評価基準： 参加度 20% 積極的に授業に参加する  中間レポート 40% 目標1・2の達成度を評価する  最終レポート 20% 目標1・2の達成度を評価する		
超過時の選考方法	書類選考		
受講料	科44,000円 (登録料24,000円・受講料20,000円)、聴8,000円		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	教室情報については、決定次第、「お知らせ」へ掲示します。不明な点があれば連絡先まで問い合わせください。		
パッケージ科目			
低回生受講推奨科目			
講義概要・到達目標			
<b>授業テーマ：</b> 看護の概念と看護職の役割  <b>授業の概要：</b> 看護学生が看護学について初めて学ぶ科目である。看護は主要な4つの概念で構成されている。「看護の対象となる人間、対象の目的となる健康、対象がおかれている環境」を知ることによって「看護」とは何かを考える。また、看護学を学ぶ導入として医療チームや看護倫理について学習する。  <b>到達目標：</b> 1) 看護学の導入として、看護の概念や定義、専門職としての看護、看護の対象者の特徴を学ぶことを通して、看護学についての理解を深める基盤とする。 2) 医療における自己決定権と患者の権利擁護について理解する。  <b>授業方法：</b> テキストやレジュメを使って講義形式で行い、適宜、グループワークを取り入れる。 必要に応じて、視聴覚資料や参考文献の資料を用いる。			
講義スケジュール			
各回の授業内容： 1. 看護学コースガイダンス (片山) 2. 学問としての看護学 (當日) 3. 看護の概念と定義 (當日) 4. 看護教育制度 (當日) 5. 看護の歴史 (當日) 6. 看護の役割と機能「学生による個人情報の取り扱い」 (片山) 7. 看護の役割と機能「保健医療システム：地域と病院」 マナビプロジェクト機能によるグループワーク (片山)			

8. 人間科学としての看護学「看護の対象」 マナビプロジェクト機能によるグループワーク (片山) 9. グローバル社会と看護「災害からみた看護の本質」 (片山) 10. 看護における倫理と法「患者の権利と擁護」 (片山) 11. 看護における倫理と法 「看護とインフォームドコンセント」 (片山) 12. 医療安全「医療事故と医療安全」 (片山) 13. 医療安全「事故発生・事故対策」 (片山) 14. 専門職としての看護「専門職としての役割と自律」 (片山) 15. 専門職としての看護「専門職としての責任」 (片山)	
教科書	1. 宮脇美保子『新体系 看護学全書 専門分野I 基礎看護学 看護学概論 第4版』メヂカルフレンド社 (2017)
参考書	1. 日本看護協会出版会監修『新版看護者の基本的責務：定義・概念/基本法/倫理』日本看護協会出版会 (2016) 2. 日本看護協会編『日本看護協会看護業務基準集2007年改訂版』日本看護協会出版会 (2007) 3. 立川昭二『病気の社会史』岩波文庫 (2007)